

# 町のわだい

今月の題字 西口 <sup>のどか</sup>和さん（轟木小3年）



## 小正月にやつらがやってくる 織笠地区でなごみ行われる

1月15日小正月の夜、「ピーパー、ピーパー」と不気味な音を鳴らしながらなごみが邪気を払い、福を招くため子どものいる家庭を回りました。これは、織笠地区の教育振興の一環として行われているもので、震災後復活してことしで4回目となります。「悪りいわらすはいねえがあ」と突然やってきたなごみに驚く子どもたち。怪しく光る包丁と、口をあけた麻袋を手に持ち詰め寄る姿に「言うことは何でも聞きます。いい子にしますから、許してください」と涙ながらに約束していました。

## 移動図書館車贈呈式行われる 東京の公社から温かな支援

12月18日、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（若林 恭英会長）から、本町に移動図書館などとして使う乗用車が寄贈され、移動図書館の活動も引き継がれました。震災後、2011年7月から「いわてを走る移動図書館プロジェクト」を行ってきた同会。約3万4千冊もの本を貸し出してきました。同会岩手事務所の三木真冴さんは「1回1回の活動に思い出が残っている。毎回待っている利用者の存在が励みになりました。町には、これからもこの活動を継続してほしいです」と話しました。



## 地産地消優良活動表彰 川石水産に東北農政局長賞

本町の川石水産が、平成27年度地産地消優良活動表彰東北農政局長賞を受賞し、昨年12月21日に表彰状を授与されました。これは、一般社団法人都市農村漁村交流活性化機構と全国地産地消推進協議会が実施しているもので、優れた地産地消の取組・活動を表彰するもの。今回、各種イベントを通じて内陸に住む方々へ水産物のおいしい食べ方を伝える活動を実践していることなどが評価されました。同社は、県内の地産地消に大きく貢献し、今後山田町の産業を盛り上げていくことが期待されます。

